

# いなばエリア 「ふれあいの橋の会」 議事録

- 【日 時】 令和8年4月21日（火）13時30分～14時20分  
【場 所】 デイハウスじゅんぷう  
【出 席 者】 澤田博隆委員 入江敏夫委員 橋本京子委員 虎井佐恵子委員  
藪本剛総合施設長 石井陽介施設長 寺尾和馬主任

## デイハウスじゅんぷう



### 1 開会・挨拶（石井施設長）

本日は、お忙しいところお越しいただきありがとうございます。前回、デイハウスじゅんぷうをご確認いただいたのは、昨年の4月でした。お気づきの点がありましたら、遠慮なくご指摘いただきたいと思います。

### 2 環境点検（巡回前）

**石井施設長：**はじめに、前回指摘事項への対応状況を報告させていただきます。キッチン前の床材の痛みについては、建物の老朽化と将来的な移転または大規模改修の判断が必要なため、法人本部の管財にも見ていただき一旦保留としています。また、床材の上に何かを敷くと躓きの危険もあるため、現場職員の意見も確認し、現状のまま使っています。玄関前の立ち木が弱っている点は、道路側にかかる箇所を伐採済みです。今後も営繕担当と相談しながら順次伐採する計画です。ダイルーム西側の換気扇が使われていない件は、清掃し使用しています。

**寺尾主任：**南側窓の遮光対策については、外側に朝顔を植える計画をしています。4～6月にプランターに種を撒けば7～9月に蔓が伸びる見込みです。遮光カーテンでは逆に薄暗くなってしまう心配があり、明るさも保つことができると判断しました。

**澤田委員：**2階を整備して休憩室とし、事務所を1階にしようとして検討されていた件は、どうなりましたか。

**寺尾主任：**2階に設置していたベッドを畳み、椅子を設置して、職員の休憩スペースを確保しました。3月までは、当直が2階でベッドを使用していましたが、4月からシルバー人材センターの当直を配置せず、オンコール体制に移行しました。



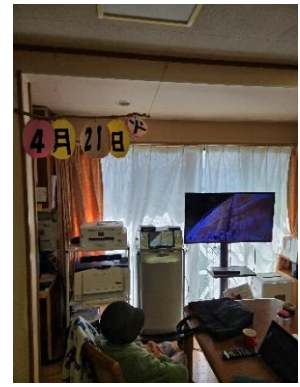
〈キッチン前床材〉



〈玄関前立木〉



〈西側換気扇〉



〈西側カーテン〉

### 3 環境点検（巡回中）

虎井委員 : キッチンの床面は、床が抜けて危険というわけではないですね。

石井施設長 : 法人管財担当にも確認していますが、床が抜けてしまう状態ではありません。塗装が剥がれている状態ですが、床面塗装は大掛かりですので保留としています。

澤田委員 : この建物を改修するのは大変ですね。

石井施設長 : 建物全体が古く、過去のシロアリ被害の痕跡などあります。

藪本総合 : 直してもキリがない状況です。移転の方向で検討しています。

虎井委員 : 食事は三食キッチンで作られていますか。

寺尾主任 : 火曜日以外は調理のパートさんがここで調理します。じゅんぷうは開設来、家庭料理なのでとてもおいしいと評判は良いです。

虎井委員 : 火曜日はどうされていますか。

寺尾主任 : 給食委託業者の LEOC に調理を委託しています。

橋本委員 : 非常口は玄関だけでしょうか。勝手口は道に通じていないのでしょうか。

石井施設長 : 非常口は玄関と西側窓になります。勝手口を出て左に行くと、建物横の道路に出ることができます。

橋本委員 : 1 日何人くらい入浴されていますか。

寺尾主任 : 本日は 3 人でした。多い時は 1 日 5~6 人入浴されます。午前中に入っていることが多いです。

橋本委員 : 寒くはないのでしょうか。

寺尾主任 : 脱衣場は、ヒートショックを防ぐために赤外線暖房機を使用しています。温度計で 23 度を目安に、ご利用者に寒さの確認をしながら更衣をしています。パંジー浴槽という浴槽を使用していますので、要介護度 5 の方でも入浴できる浴槽となっています。

橋本委員 : 赤外線暖房機をつけると、瞬時に暖かくなって良いですね。

虎井委員 : 1 名入浴されるたびに、浴槽の湯を全部交換しているのですか。

寺尾主任 : 半分浴槽が開く仕組みになっており、入浴されるたびに浴槽の約半分のお湯が流れます。入浴の度に、たし湯をしています。

- 橋本委員 : 2階が事務所と休憩室でしょうか。  
 寺尾主任 : はい。ここで休憩する職員もいます。空間は狭いですが、職員4～5名が順番に休憩しています。  
 虎井委員 : 夜間は、この部屋に職員が居るのでしょうか。  
 寺尾主任 : 夜間は1階で、宿泊利用者の対応をしています。休憩も1階でとっています。



<巡回>



<浴室>



<2階事務所兼休憩室>



<勝手口>

### 3 環境点検（巡回後）

- 入江委員 : この部屋に突っ張り棒があるのはなぜですか。  
 寺尾主任 : この部屋もご利用者が宿泊で使用されるため、突っ張り棒を設置しています。  
 虎井委員 : 泊まり部屋ですと入口の段差が大きいですね。  
 寺尾主任 : デイハウスじゅんぷうは、バリアアリーの考え方でサービスを提供しています。ご利用者は在宅で生活されています。すべてがバリアフリーですと、自宅に戻ったとき便利で生活が継続できません。玄関も段差があります。建物内の段差を用いた、上り下りをケアプランに取り入れリハビリ訓練もしています。在宅で安全に生活するためにも、ご自宅を想定して体を動かしていただいています。
- 入江委員 : 確かにそう考えると、全てがバリアフリーではない考え方も良いですね。
- 橋本委員 : 勝手口に物が置いてあるのが気になりました。非常時に使われることもあるでしょうから、整頓されると良いと思います。  
 寺尾主任 : 至急片付けます。
- 入江委員 : 現在は何名の方が利用されていますか。  
 寺尾主任 : 現在の登録者数は20名程度で、昼間の利用者は9～12名、本日の宿泊者は5名です。  
 虎井委員 : 利用者さんは、年々増えていっているのでしょうか。  
 寺尾主任 : 低迷しましたが、2月後半から問い合わせが増加しています。特に独居の方の依頼が増えています。登録者の約半数が独居で、以前の30%から増加しています。
- 橋本委員 : 泊まりの部屋は何部屋ですか。緊急時にはどうされていますか。  
 寺尾主任 : 宿泊用の個室は5部屋あり、各部屋にコールボタンを設置しています。現在宿泊中の方は夜間もトイレに自力で行かれるため、コールはほとんど使用されて

いません。職員が定期的に見回り、音がした際にはすぐに対応しています。

澤田委員 : 当直を廃止したということですが、夜間はどのように対応していますか。

石井施設長 : 夜勤職員は宿泊する利用者の対応をします。緊急時のオンコールは、デイハウスじゅんぶうの管理者、にしまち訪問看護事業所に繋がる体制として、緊急時には自宅に出動します。

橋本委員 : 泊りは1泊ですか。

寺尾主任 : 連泊の方も居られます。夕方迎えに行く方や、朝9時に迎えに行って、そのまま宿泊して帰られる方もいます。配偶者の入所や本人の状態悪化により在宅生活が困難になり、施設入所先を探している間の利用もあります。小規模な施設のため家族からも安心との声をいただいています。

澤田委員 : いなば幸朋苑をこぢんまりとした感じですね。家庭の延長で職員さんと距離が近く、利用される皆さんも安心して通われているのではないのでしょうか。

橋本委員 : 移転先を検討中とのことですが、西中学校区という制限があるのでしょうか。

藪本総合 : 以前は中学校区単位での制約がありましたが、鳥取市に交渉し鳥取市内（A圏域内）であればどこでも移転可能となりました。移転先については検討中ですが、適当な物件の確保と職員配置が課題です。

澤田委員 : 以前も言いましたが、利用者ファーストだけでなく、職員も大事です。ぜひ、職員ファーストの環境整備もお願いします。

石井施設長 : 本日は貴重なご意見ありがとうございました。ご指摘いただいた事項を改善し、次回報告させていただきます。今後も遺憾のないご意見をよろしくお願いいたします。



〈終了ミーティング〉



〈居室突っ張り棒〉

【次回】 令和8年5月19日（火）13時30分 介護老人保健施設いなば幸朋苑

【まとめ】

指摘事項	評価事項
勝手口の整理	前回指摘事項が改善されている。
床材の塗装が剥がれている（継続検討）	こぢんまりとした空間を活用したサービス提供による安心感（利用者と職員との距離感、段差を活用したサービス提供）